

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	高次脳機能障害治療学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時限	前期	教室名	801
担 当 教 員	山元 昭彦				
実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害領域の病院で脳梗塞患者のリハビリテーションに従事。 高次脳機能障害の実務に携わる。 臨床実習指導者研修修了認定 MTDLP実践者 注意・記憶障害・失語などの高次脳機能障害を有する対象者への作業療法について学会発表				
《授業科目における学習内容》					
1年生で学習した神経系に関する解剖生理学の知識が必要です。基本的には講義が中心となります。症状を理解し、可能な限り評価、検査の練習も行っていきます。各疾患に対する治療までの考え方について勉強していきます。また、国家試験を意識して授業をすすめていきます。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験60%、小テスト40%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:高次脳機能作業療法学(第2版) 参考図書:標準理学療法学・作業療法学 神経内科学、生理学ハンドブック					
《授業外における学習方法》					
解剖学、生理学ハンドブックまたは神経内科学の教科書使用して、神経系について勉強しておく。					
《履修に当たっての留意点》					
高次脳機能障害は外見からは分からない障害です。作業療法士としてどのように対処すればよいのか、どのように社会復帰をさせるのか基礎からきちんと学び、授業を進めていきます。前回授業を行った内容を毎回小テストなどで確認をしていきます。必ず復習をするように心がけてください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	大脳の機能を理解する。 脳の解剖を理解する。	教科書、配布資料	脳に関する解剖、生理学の確認。 大脳皮質の機能を把握しておく。 教科書:P3~25	
	各コマにおける授業予定	・オリエンテーション ・脳解剖			
第2回	授業を通じての到達目標	脳画像を基に、読影をし症状を予測することができる。	教科書、配布資料	脳画像から大脳皮質の機能を調べておく。 教科書:P15~25 配布資料	
	各コマにおける授業予定	脳解剖と脳画像の診方			
第3回	授業を通じての到達目標	失語における脳の損傷部位と失語症の分類を理解する。	教科書、配布資料	失語の定義、分類、症状、メカニズムを調べておく。 教科書:P68~74	
	各コマにおける授業予定	失語 損傷部位と症状			
第4回	授業を通じての到達目標	失語における評価の種類を知る。 評価内容、治療に関する内容を理解する。	教科書、配布資料、 評価器材	失語患者を把握し、評価、問題点、治療をおさしておく。 P74~79	
	各コマにおける授業予定	失語 評価バッテリーと治療方法			
第5回	授業を通じての到達目標	失行の定義を理解し、具体的特徴を列挙することができる。	教科書、配布資料	失行の定義、分類、症状、メカニズムを調べておく。 教科書:P81~86	
	各コマにおける授業予定	失行 損傷部位と症状			

授業の方法	内 容		使用教材	
第6回	授業を通じての到達目標	失行における評価内容、治療に関する内容を理解する。	教科書、配布資料、評価器材	失行患者を把握し、評価、問題点、治療をおさしておく。 P86～93
	各コマにおける授業予定	失行 評価バッテリーと治療方法		
第7回	授業を通じての到達目標	失認における脳の損傷部位と症状と評価バッテリーと治療方法を理解する。	教科書、配布資料、評価機材	失認の定義、分類、症状、メカニズムを調べておく。 教科書:P97～109
	各コマにおける授業予定	失認 損傷部位と症状、評価バッテリーと治療方法		
第8回	授業を通じての到達目標	半側空間無視に関する脳の損傷部位と症状を理解する。	教科書、配布資料	半側空間無視の定義、分類、症状、メカニズムを調べておく。 教科書:P112～116
	各コマにおける授業予定	半側空間無視 損傷部位と症状		
第9回	授業を通じての到達目標	半側空間無視における評価内容、治療に関する内容を理解する。	教科書、配布資料	半側空間無視患者を把握し、評価、問題点、治療をおさしておく。 教科書:P116～125
	各コマにおける授業予定	半側空間無視 評価バッテリーと治療方法		
第10回	授業を通じての到達目標	注意障害の分類を理解し、症状を理解する。	教科書、配布資料	注意障害の定義、分類、症状、メカニズムを調べておく。 教科書:P47～49
	各コマにおける授業予定	注意障害 損傷部位と症状		
第11回	授業を通じての到達目標	注意障害における評価内容、治療に関する内容を理解する。	教科書、配布資料	注意障害患者を把握し、評価、問題点、治療をおさしておく。 教科書:P50～55
	各コマにおける授業予定	注意障害 評価バッテリーと治療方法		
第12回	授業を通じての到達目標	記憶障害に関する脳の損傷部位と症状を理解する。評価内容、治療に関する内容を理解する。	教科書、配布資料	記憶障害の定義、分類、症状、メカニズムを調べておく。 教科書:P56～65
	各コマにおける授業予定	記憶障害 損傷部位と症状・評価バッテリーと治療方法		
第13回	授業を通じての到達目標	遂行機能障害に関する脳の損傷部位と症状を理解する。	教科書、配布資料	遂行機能障害の定義、分類、症状、メカニズムを調べておく。 教科書:P128～131
	各コマにおける授業予定	遂行機能障害 損傷部位と症状		
第14回	授業を通じての到達目標	遂行機能障害に関する評価内容、治療に関する内容を理解する。	教科書、配布資料	遂行機能障害の患者を把握し、評価、問題点、治療をおさしておく。 教科書:P132～141
	各コマにおける授業予定	遂行機能障害 評価バッテリーと治療方法		
第15回	授業を通じての到達目標	社会行動障害の定義を理解し、具体的特徴を列挙し、評価、治療に結びつけることができる。	教科書、配布資料	社会行動障害の定義、分類、症状、メカニズムを調べておく。 教科書:P142～154
	各コマにおける授業予定	社会行動障害		